

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 10日

公表:令和4年 3月 22日

事業所名 児童デイサービス・アニマートさのほりごめ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2		運動課題の時にはスペースが限られてしまいますが、限られたスペースの中で工夫して活動を行っております。
	2	職員の配置数は適切である	4	0		人員基準内での運営は出来ていますが、利用者様の安全に配慮してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	4	玄関前に段差がある為職員間で声を掛け合い、注意しております。	トイレ内に手すりが設置されておりますが、トイレ内が狭い為、介助に時間を要する事があります。玄関前の階段等のスロープの設置を検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		日々の中で(支援記録を記入する際等)目標に沿った内容で振り返りを行い、利用者様についての話を増やしてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		回収された評価シートを基に会議を実施し、今後の業務改善につなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	保護者会にて集計結果を配布しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		今後、第三者による外部評価も検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	事業所内で伝達研修や支援に関する動画等を鑑賞し、支援に繋げております。	今後は、全職員が外部研修等にも参加できるよう、調整等行ってまいります。感染症対策としてオンライン研修での受講を行いました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	年に一度アセスメント変更等を確認しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	月に一回活動について会議を行っております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	運動や机上の担当職員をローテーションしております。	活動内容に偏りが無いよう、全職員で活動内容についての会議を行い、保護者様のニーズや、利用者様の実態把握を適切に行い、活動プログラムを作成してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	十分に時間の確保が出来る為、個別にゆとり課題に取り組んでおります。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	個別の状況に応じて対応しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	その日の流れや活動内容、配置等の共通理解を図っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援記録を記入する際に振り返りをし、伝達ノート等でも補充しております。	勤務時間が異なる職員が在籍している為、翌日の打ち合わせで伝達ができるように伝達ノートを引き続き活用してまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	目標に沿った内容で振り返りを行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		半年に一度モニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っております。モニタリングの時期が遅れないよう、努めてまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	会議でガイドラインの読み合わせを行い、理解を深めております。	引き続き、職員会議の中で読み合わせを行ってまいります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		児童発達支援管理責任者の参画を実施しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	送迎時に学校での様子を伺い、支援に繋げております。	学校より、下校時刻表をいただいております。送迎に不手際がないよう、調整を行ってまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3		現在は対象の利用者様はおりませんが、医療的ケアが必要な利用者様の支援について検討してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	相談支援事業所より情報を提供して頂いております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		現在、対象者がおりません。転居等の理由で事業所の変更がある場合は情報の提供を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	関係医療機関の先生より助言等を頂いております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		感染症対策の一環で外部への外出は控えております。外出が出来る状況になりましたら、児童館の利用等を検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	お迎え時やリム(連絡帳)を通じて日々の支援内容をお伝えしております。	モニタリング以外にも、必要に応じて面談を行ってまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0		どのような内容にもお応えできるようにしてまいります。また、支援方法を共通理解できるようにしてまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		ご契約の際や更新でのお手続きの際にお伝えしてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		どのような内容にもお応えできるようにしてまいります。また、支援方法を共通理解できるようにしてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0		保護者会は開催しておりますが、コロナ禍の為、懇親会等は中止しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	対応した職員が管理者、他職員に伝達し、共通した対応が適切に行えるようにしております。	ご対応の遅れがないように、注意してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	年に4回のお便り(活動の様子)や、長期休み前のお知らせ(持ち物等)を発行しております。	
	35	個人情報に十分注意している	4	0		個人情報の使用や開示について細心の注意を払ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		個々に合わせた情報の伝達の方法を配慮してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	新型コロナ感染防止策を行いながら、ファミリーコンサートを開催し、利用者様の知人・友人の方を招待しております。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		保管マニュアルの周知・説明を行ってまいります。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		年に2回、避難訓練週間(月～金)を開催しております。また、年に1回消防署の方による消火訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		虐待防止・権利擁護についての読み合わせを定期的に行ってまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		保護者様と面談を行い、同意を頂いて個別支援計画書に反映させていただきます。また、都度ご説明させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		アセスメント時に確認し、全職員に確実に周知し、正しく対応が出来るようにしてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	全職員で再発防止等の話し合いを行っております。散歩コースのヒヤリハットマップも作成しております。	引き続き、ヒヤリハット事例を共有し、事故防止、再発防止に努めてまいります。